

At a Glance

事業内容および主な事業会社

ウォッチ事業

グループの中核事業。グランドセイコーをはじめとする「グローバルブランド」を軸に、部品製造から組立、調整まで一貫して手がける世界でも数少ない「マニファクチュール」として、国内外のグループ会社で製造したウォッチを世界に幅広く販売。またウォッチの国内小売事業、アフターサービスやウォッチ駆動部品(ムーブメント)の販売事業もグローバルに展開。



電子デバイス事業

電子デバイス、精密デバイス、プリンティングデバイスを製造・販売。高性能、高信頼性の小型電池、低消費電力が特長の水晶振動子、水晶発振器用ICや、サブミクロン単位の精度を競う精密加工部品、産業用インクジェットプリントヘッド、サーマルプリンタなどを提供し、高精度の加工、組立で医療・情報システム・自動車など幅広い分野にて高度化する社会と産業をサポート。



システムソリューション事業

電子契約やオーダリング、決済ソリューション、ITシステム性能管理、EDI、ソフトウェアやハードウェアの受託開発や開発支援などIoT時代を支える多角的なソリューションを展開。複合化するお客さまのニーズに対して、コンサルテーションからシステム構築、運用管理までワンストップで最適なソリューションを提供し、お客さまのビジネスモデルの変革を支援。



タイムクリエーション・和光事業他

企画・製造からアフターサービスまでを行うクロック事業、公共施設や競技場等で使用される設備時計、スポーツ計時計測機器を扱うタイムシステム事業、質の高いサービスと品揃えを誇る銀座を代表する高級専門店・和光事業等を展開。



第7次中期経営計画 基本方針および数値目標

基本方針

「選択と集中」を細部にまで展開しつつ
「未来」に向けたシナリオへの投資に積極的に取り組み
SEIKOブランドと精密技術、ソリューション提案力を武器に
持続的成長を確実に実現する

連結数値目標

| | (億円) | | | |
|------|---------|---------|---------|---------|
| | 19/3期実績 | 20/3期実績 | 21/3期実績 | 22/3期計画 |
| 売上高 | 2,472 | 2,391 | 2,026 | 2,850 |
| 営業利益 | 93 | 61 | 21 | 142 |

連結業績 (2021年3月期)

売上高 **2,026**億円
営業利益 **21**億円
営業利益率 **1.1**%

51%

22%

セグメント別
売上高構成比

16%

11%

主な商品・製品・サービス

ウォッチ完成品
ウォッチムーブメント

基本方針

グローバルブランドを成長エンジンとし、
戦略を加速させ、非連続を
① 国内に続き、海外での売上拡大を加速
⇒ 日本・米国・アジアでの伸長
② 広告宣伝、製造体制、アフターサービス体制の強化

数値目標

| | (億円) | | | |
|------|---------|---------|---------|---------|
| | 19/3期実績 | 20/3期実績 | 21/3期実績 | 22/3期計画 |
| 売上高 | 1,417 | 1,354 | 1,050 | 1,650 |
| 営業利益 | 103 | 101 | 56 | 145 |

主な商品・製品・サービス

電子デバイス
●マイクロ電池/チップキャパシタ
●水晶振動子 ●高機能金属製品 ●希土類磁石
精密デバイス
●HDD用部品 ●自動車用部品
●その他精密切削部品
プリンティングデバイス
●インクジェットプリントヘッド
●サーマルプリンタ
その他
●水晶発振器用IC ●センサ用IC

基本方針

① 匠・小・省の技術をさらに進化させ、得意分野、
成長市場分野での重点製品ポートフォリオの転換
② 新成長分野への投資実行と管理の強化

数値目標

| | (億円) | | | |
|------|---------|---------|---------|---------|
| | 19/3期実績 | 20/3期実績 | 21/3期実績 | 22/3期計画 |
| 売上高 | 555 | 517 | 502 | 630 |
| 営業利益 | 14 | 6 | 13 | 30 |

主な商品・製品・サービス

●ITシステム性能管理/ソフトウェア
●ネットワーク機器/サービス
●IoT組み込みモジュール/機器
●監視・制御システム
●金融/流通関連ソフトウェア
●決済関連製品/サービス
●外食産業向けシステム
●タイムスタンプ/電子署名
●個人向け製品/サービス

基本方針

① 事業の持続的成長と信頼性向上
② 多角化による環境に強い事業構造と高付加価値化
③ 行動様式の変革と組織の筋肉質化

数値目標

| | (億円) | | | |
|------|---------|---------|---------|---------|
| | 19/3期実績 | 20/3期実績 | 21/3期実績 | 22/3期計画 |
| 売上高 | 308 | 328 | 341 | 350 |
| 営業利益 | 24 | 30 | 35 | 30* |

* 営業利益は前倒しで中期経営計画を達成。

主な商品・製品・サービス

クロック
●高級機械式クロック ●掛時計
●置時計 ●目ざまし時計
タイムシステム
●設備時計 ●スポーツ計時計測機器
●デジタルサイネージ ●大型表示盤
●野球場スコアボード
和光
●ウォッチ ●クロック ●宝飾品
●紳士・婦人用品 ●ハンドバッグ
●室内用品 ●食品 他

基本方針

ブランドへの貢献とさらなる成長に向けた
選択と集中および基盤強化

数値目標

| | (億円) | | | |
|------|---------|---------|---------|---------|
| | 19/3期実績 | 20/3期実績 | 21/3期実績 | 22/3期計画 |
| 売上高 | 283 | 295 | 248 | 310 |
| 営業利益 | 6 | 3 | △0 | 10 |

* 各セグメントの売上高・営業利益は内部取引金額を含み、
売上構成比は内部取引控除後の金額によって算出しています。

ウォッチ事業



セイコーウォッチ株式会社
代表取締役社長
内藤 昭男

創業140年の伝統を引き継ぎ、さらなる未来へ

日本の美意識を体現する グローバルブランドを目指して

2020年度は、コロナ禍の厳しい環境下で、第7次中期経営計画の方針であるグローバルブランド（GB）戦略を推進、新高級ムーブメントの発表や、海外事業の拡大を加速するための組織再編などを実施いたしました。国内は、緊急事態宣言の影響を受けつつも、Eコマースは堅調、ブランド誕生60周年のグランドセイコー（GS）や、セイコーダイバーズ55周年記念のセイコー プロスペックス（プロスペックス）の限定モデルは好評を博しました。海外ではオンラインを使用した販促強化の成果もありGBへのシフトが加速、GSやプロスペックスが着実に伸長しました。2020年度のウォッチ事業の売上高は、前年度比304億円減の1,050億円（前年度比22.5%減）となり、営業利益は前年度から45億円減少し56億円（同44.9%減）となりました。

2021年度もGB戦略を深耕するとともに、デジタルマーケティングを加速し、コロナ禍を乗り越える新ビジネス戦略を遂行します。GS、プロスペックスのさらなる成長を目指し集中投資を継続します。高級時計のリーディングブランドとして、GSは日本独自のものづくりを追求し、日本ブランドとして初めて高級時計の見本市「Watches and Wonders Geneva 2022」に参加することで、新たなステージへ進化する姿を発信してまいります。またお客さまに永く安心してお使いいただくために、保証期間の延長、保証書電子化という新しいアフターサービスプログラムを全世界で導入しました。

当社は持続可能なものづくりを目指し、岩手県との包括連携協定を結び、地域社会への貢献や自然環境保護活動に取り組んでいます。またプロスペックスにおいては、海洋保護活動「Marine Debris Program」をグローバルに推進するPADI®への支援を開始しました。

“常に時代の一步先を行く”との創業者の信条に基づき、日本独自のブランドストーリーと魅力を全世界に発信することで、引き続きウォッチのあるべき姿を追求してまいります。

グローバルブランド戦略

当社グループは機能的価値だけでなく、感性的価値や社会的価値を評価されるお客さまに向け、高付加価値なウォッチを開発し、グローバル市場で販売しています。世界屈指のマニュファクチュールとして、企画・開発から製造、マーケティング・販売、アフターサービスにおいて、お客さまに着ける喜びと満足を提供します。GB戦略ではブランドごとのシグネチャーストーリーに基づくマーケティング活動により、国内のみならず海外市場でも成長を続けています。コロナ禍の2020年度も、GBの海外市場での売上高は前年比で2桁伸長し、ウォッチ事業の成長を牽引しています。

グランドセイコー

GSは1960年の誕生以来、最高峰の腕時計を目指し、正確さ、美しさ、見やすさといった腕時計の本質を高い次元で追求し続け、たゆまぬ進歩を重ねてきたブランドです。2010年に海外展開をスタートし、それまでSEIKOのコレクションの一つであったものを2017年に独立ブランド化いたしました。世界でも数少ない真のマニュファクチュールにしか成し得ない最高レベルの性能と洗練されたデザインをデジタルマーケティングで積極的に発信し、グローバル市場での認知度も向上しています。コロナ禍にあっても世界の各国で売上を伸ばしており、2020年度から2021年度にかけて日本以外の国、特に米国での成長が著しく、海外における売上高回復を牽引いたしました。2021年にはジュネーブ時計グランプリ（Grand Prix d'Horlogerie de Genève）において「メンズウォッチ」部門賞を受賞しました。またGSは、お客さまに永くご愛用いただくために、修理の対応期間を限定しておりません。2021年10月からは新しいアフターサービスプログラムを導入し、全世界で保証期間を5年に延長いたしました。



「Watches and Wonders Geneva 2022」に初参加

環境保全

GSは時計作りを通じて、「時の本質（Nature）とは何か」を追求するとともに、移ろいゆく季節の中でさまざまに表情を変えていく自然を日本の美意識の象徴として尊び、雄大かつ繊細な自然美を表現しながら進化してきました。例えば岩手山の山肌や信州の雪原など、自然の美しさをダイヤルで表現してきました。日本の美しい風景はGSのインスピレーションの源であり、そのデザインに独自性を与えています。そのためブランドとして環境保全活動に取り組み、その一環として2021年から「グランドセイコー スタジオ 雫石」の位置する岩手県において、日本一の白樺美林ともいわれる平庭高原の保全に取り組んでいます。



2021年度ジュネーブ時計グランプリ「メンズウォッチ」部門賞受賞
＜グランドセイコー＞SLGH005

社会を支える重点取り組み

セイコー プロスペックス

プロスペックスはダイビングやトレッキングなど、スポーツ、アウトドアシーンに対応する本格機能を備えたブランドです。セイコーのダイバーズウォッチは、1965年に国産初のダイバーズウォッチとして誕生以来、独自のテクノロジーを搭載した商品を次々と世に送り出し、世界中のプロフェッショナルダイバーや冒険家から高い評価と信頼を獲得してきました。1975年に完成させた世界初のチタン製飽和潜水仕様の「プロフェッショナルダイバー600m」が、その後のダイバーズウォッチの国際規格に大きな影響を与えるなど、世界中のプロフェッショナルから絶大な信頼を得ています。当社では、ダイバーや大いなる海へ感謝の気持ちを表すため、またこれからもともにサステナブルな世界を実現していくために、2021年からPADI®およびPADI Aware Foundation™が世界的規模で取り組む海洋保護活動「Marine Debris Program」の支援を開始しました。

ブランドフィロソフィー「Keep Going Forward (常なる前進)」の精神のもと、あきらめず前へ進み続ける人々を応援し、自らもこの姿勢で時計作りに挑戦するブランドであり続けます。



製造・開発

盛岡セイコー工業(株)内にある「グランドセイコースタジオ 雫石」と、セイコーエプソン(株)内にある「信州 時の匠工房」という豊かな自然に育まれた2つの工房で、GSの3つのムーブメント(機械式、スプリングドライブ、クォーツ)を搭載した腕時計が生み出されています。0.01mm以下の精度での部品加工やGSの高い精度を実現するために0.000001g単位で行われる重量調整、そして部品同士を1/100mm単位で調整し、組み上げていくのは「現代の名工」を含む「匠」と呼ばれる卓越した技能を持った技術者たちです。一方、部品の製造には半導体製造に用いられる最先端の加工技術MEMSも取り入れています。最新機械式ムーブメントの9SA5では優れた着け心地を実現するため、MEMS技術で部品の耐久性を高めながら省スペース化に成功、ムーブメントの薄型化を実現しました。

さらに機械式時計としてさらなる高精度化を遂げるために、独創的な発想で「コンスタントフォース」機構と「トゥールビヨン」機構を同軸に一体化した世界初の複雑機構を搭載する、機械式時計のコンセプトモデル「T0 コンスタントフォース・トゥールビヨン」を生み出しました。



川内谷 卓磨
コンセプトモデル「T0(ティール・ゼロ) コンスタントフォース・トゥールビヨン」開発者

平賀 聡
現代の名工・黄綬褒章受章

マーケティング・販売

セイコーの腕時計は世界中で販売されています。さらにGSをはじめとするGBの世界観を発信していく場として「グランドセイコーブティック」や「セイコーブティック」をパリやロンドン、ニューヨーク、上海、バンコクなど世界中に約80店舗展開しています。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、デジタル技術を活用したリッチなコンテンツにより、オンライン上で実際のブティックを訪問するのと同様のブランド体験ができる場を提供しています。またお客さまの利便性を考え、インターネット上で商品知識豊富なブティック店員に直接相談できる“コンシェルジュ”サービスも開始しています。ご購入に際しては多様なライフスタイルに応えるフレキシブルな営業時間や、豊富なビジュアルコンテンツなどにより、ブランド体験の場を広げるとともに、ブランドの魅力とポリシーを伝え、一層のブランド価値向上を図っています。



グランドセイコーブティック パリ ヴァンドーム

社会課題解決に資する製品例

社会課題 1 一人ひとりのニーズに応えるウォッチ開発

当社は様々な役割を持った特別な時計を数多く提供しています。世界一正確ともいわれる日本の鉄道運行を発売以降90年以上にわたり支えている懐中型の鉄道時計、看護師をはじめとする医療・看護業務関係者に向けたナースウォッチ、視覚障害を持つ方のための触読時計や音声デジタルウォッチなど、様々な人々に寄り添ってきました。セイコーの時計は一人ひとりのニーズに合わせ、誰もが使いやすいインクルーシブデザイン*の考えに基づいてより使いやすく、着け心地の良い時計を目指してこれからも進化していきます。

* インクルーシブデザイン
年齢や能力に関係なく幅広い人々のニーズを反映し、製品やサービスを考案していくデザイン手法のこと。

社会課題 2 地方創生及び持続可能な地域社会の実現

セイコーウォッチ(株)と時計製造を担う盛岡セイコー工業(株)は、地方創生及び持続可能な地域社会の実現に向けた活動を協働で推進することを目的とした包括連携協定を、岩手県と締結しました。

三者のリソースやノウハウを活かしながら協力体制を構築し、国内外に向けて「岩手県とグランドセイコーの魅力」を発信するとともに、地域貢献や自然環境保全活動などのSDGs活動を推進し、地域の活性化や社会的課題の解決に取り組んでまいります。

電子デバイス事業

SEIKO



セイコーインスツル株式会社
代表取締役社長

小林 哲

「匠・小・省」を実現させる コアコンピタンスを進化させ、 サステナブルな社会の実現に 貢献します

Postコロナに向けた価値の創造

コロナ禍で私たちを取り巻く社会は、テレワーク、ネットショッピング、オンライン授業などが普通となったNew Normalへと変容しました。そして、Postコロナの社会として、サイバー空間とフィジカル空間が高度に融合するSociety5.0の進展は、予想を大きく超えて加速しています。

これらのSociety5.0に向けた社会の変化に対して、私たちはウオッチ製造を起源に長年培われた「匠・小・省」*1を実現させる精密設計・高精度加工・微細組立のコアコンピタンスをベースにする数多くの製品・サービスでその課題解決に貢献しています。例えば、情報化社会の根幹を支えるデータセンター向けHDD部品・半導体製造装置向け部品、デジタル機器などの小型化・ローエナジー化を支え

る電子部品、さらにオンデマンド化で環境負荷の低減を実現する産業用デジタル印刷機器向けインクジェットプリントヘッドなど、お客さまとともに小型化、低消費電力化、多機能化などを実現しています。現在の第7次中期経営計画の方針である成長市場分野への重点製品ポートフォリオの転換を進めるとともに、この変化で生じたビジネスチャンスを実践に活かした結果、2021年3月期の下期から業績も順調に伸長しています。

Society5.0の社会において、当社が取り組むべき社会課題とその解決が当社の成長機会と捉えられるものの一つにワイヤレスセンサネットワーク機器が挙げられます。2021年には「MCPC award 2021」*2のサービス&ソリューション部門/SDGs特別賞に当社のワイヤレスセンサネットワーク機器が選定されました。私たちの製品開発が認められたことを嬉しく受け止め、今後も社会の変化とともに生まれる新たな社会課題解決に取り組み、サステナブルな社会の実現に貢献できるようさらに進化してまいります。

*1 匠・小・省：精緻な技とノウハウで新たな価値を創る「匠」、精密加工や高密度実装技術で小型化を実現する「小」、材料やエネルギー等様々な資源を効率的に活用する「省」を表した技術理念

*2 MCPC award：MCPC(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム)はモバイルコンピューティングの導入により高度なシステムを構築し、顕著な成果を上げている企業や団体を表彰するもの

社会を支える重点取り組み

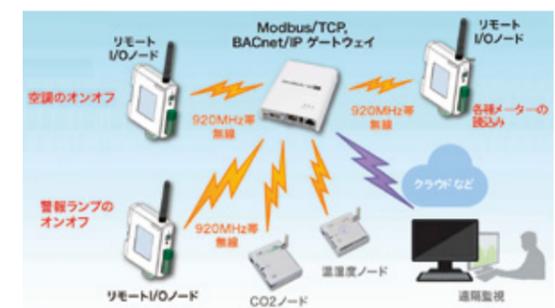
お客さまの課題解決をより身近なものにする IoTソリューションの提案

大型のビルや工場、プラントには、数多くの計器(電力、温度、湿度、CO₂、照度、ガス、圧力、流量等)が設置されていますが、昨今、人手不足により、定期的なデータ収集・管理などの業務の効率化が求められています。セイコーインスツル(株)は、無線センサネットワーク「ミスター省エネ」から、ワイヤレスで計器類のアナログ信号の取得やデジタル信号の入出力制御が可能なりモートI/Oノードを開発しました。既設の計器に、このリモートI/Oノードを設置することで、現場に出向くことなく、それらのデータを計測することが可能になります。

従来、こうした計器類の情報を得るには各機器との有線工事が必要でしたが、ミスター省エネのリモートI/Oノードは、920MHz帯無線を使ってデータのやり取りを行うため、配線が困難な離れた場所の信号なども簡単に無線センサネットワークに取り込むことを可能にしました。

さらに、アナログ信号取得用のリモートI/Oノードは、既設メータ等からのアナログ入力を電源とすることができ、外部電源や電池を必要としません。

ミスター省エネのリモートI/Oノードは、センサを使った空調や照明のオンオフ制御による省エネ化や、既設計器類からのアナログ信号の取得、デジタル入出力信号の取得制御等のリモート監視による省人化に貢献してまいります。



リモートI/Oノードを使ったシステム構成例

循環型社会を実現させる 産業用インクジェットプリントヘッド

産業用のインクジェットプリンタでは紙だけでなく、色々な素材に印刷することが可能です。

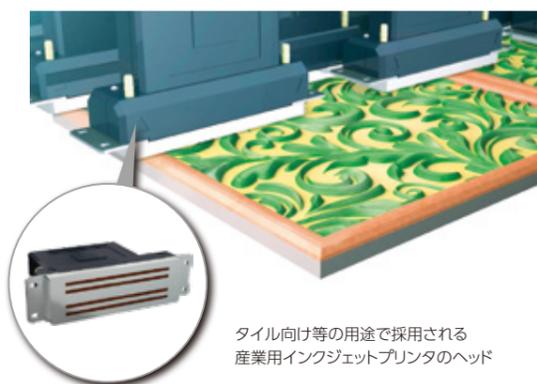
主力製品の特長は高い吐出パワー、濃いインクを高速に吐出することができることから、主にタイル向けの用途で採用されています。

さらに、ヘッドの中でインクが循環することで、ゴミなどによるヘッドの目詰まりを予防し、お客さまの安定生産を実現しています。

インクジェットの特徴の一つとして、印刷の版がいらぬことも挙げられます。作りたいものを作りたいときに必要な数だけ作るオンデマンド生産で、売れ行きを見ながら製造できるため、不良在庫が減り、廃棄物を削減できます。また、印刷版の洗浄が不要なことや、染色時に印刷する部分にだけインクを使うので、廃水処理の負荷も軽減できるという環境への配慮を十分に行ったプリントヘッドです。

テキスタイル業界ではまだインクジェットの利用率が10%未満とされていますが、今後インクジェット技術が広がることで、循環型社会の実現に近づくと見られます。

また、既にインクジェット化が進んでいるタイルプリンタ業界でも、当社のヘッドがより環境に優しい水性インクに対応したことで、水性インクと油性インクの両方が使えるハイブリッド型のプリンタが登場しました。本格的な普及はこれからですが、環境負荷低減のために導入するタイル工場も出てきています。



タイル向け等の用途で採用される
産業用インクジェットプリンタのヘッド

システムソリューション事業



多様なニーズに対応する
最適なICTソリューションを提供し、
社会課題解決に貢献します

セイコーソリューションズ株式会社
代表取締役社長

関根 淳

AIを中核に置いたビジネス構造の構築

創業者の「常に時代の一步先に行く」精神のもと、お客さまの視点でお客さまのビジネスモデルの変革を支援するICTソリューションを提供し続けてきました。

おかげさまでもちまして、第6次中期経営計画から現在（2022年3月期第2四半期）まで継続して、22四半期連続の増収増益を継続することができました。

コロナ禍で社会は大きく変容し、目まぐるしく変わる事業環境に対しては今まで以上に情報・コミュニケーションの重要性が増し、企業のDXへの取組みは大きく活性化しました。その中でも、特に非接触や非対面を実現するITソリューションの需要が高まっています。

私たちは、ビジネスを通じ、Society5.0の実現、社会課題の解決に貢献します。5G時代に放送業界で広く使われる時刻同期サービスや、自動車業界でのセンサ活用、AIを活用した故障予測、コンピュータの性能管理など、あらゆる分野で価値をご提供します。また、地方のDXニーズにも注目しており、地方に密着した活動も始めています。

日々変化するビジネス環境においては、お客さまに寄り添い、必要なサービスをスピード感をもって、アップグレー

ドし、提供していくことが重要になってきていると感じます。日々変化するお客さまのニーズに応えるため、AIを中核に置いたビジネス構造の構築を進めています。AIを取り入れて改善プロセスを回すことで、お客さまの課題に向き合い、新たなソリューションを提供することで、お客さまの成長、ひいては社員一人ひとりの成長、会社の成長につなげてまいります。

そのような継続的な成長実現のためには人材がさらに重要度を増しています。人材育成の観点では、お客さまの立場になって観察して問題を見つけ出す「デザインシンキング」がキーであり、さらには多様性が重要となります。人・組織・事業の多角化を推し進めることで、多様な製品・サービスによりお客さまのニーズに応えらるとともに事業の安定成長を実現します。

お客さまのデジタルトランスフォーメーションをサポートし、お客さまとともにサステナブルな成長を続けるため、創意工夫とスピード感をもって、これからも日々変化するお客さまのニーズに対して、コンサルテーションからシステム構築、運用管理まで最適なソリューションを提供してまいります。

社会を支える重点取り組み

当社グループではハードからシステム、アプリケーションまでワンストップで提供できる強みを活かし、お客さまの課題解決に向けて迅速かつ柔軟に取り組んでいます。

電気保安分野におけるスマート化への取組み

ビルなどの事業所で電気を使用するために不可欠なキュービクル（高圧受電設備）は法令で定期的な保安点検が義務付けられています。しかし電気保安の現場では、人材の減少・高齢化が大きな問題となっており、さらに作業員に依存しない電気保安品質の確保も課題となっています。

こうした課題の解決に向け、当社グループでは現在、一般財団法人 東北電気保安協会と共同でAIとIoTを活用したスマート保安の実用化に取り組んでいます。設備内に五感のうち味覚以外を感知するセンサを取り付けてセンシングし、収集されたデータをAIが解析、漏電等の事故を発見、もしくは事故の前兆を予測する仕組みで、現在フィールドでの評価を行っています。

社会インフラの一端を担う高度な電気保安の持続的な提供に向けて、スマート保安を推進してまいります。



トラストサービスのプラットフォームの開発

グローバルで進むニューノーマルに適應したデジタル社会の実現に向け、行政機関や民間企業が脱ハンコ、リモートワーク、非対面手続きを進めるための電子署名、タイムスタンプ、eシールといったトラストサービスの普及が期待されていますが、サービス事業者ごとに仕様異なり、利用者同士で同じアプリケーションの導入が必要なことが普及を妨げる一因となっています。

当社グループはセコムトラストシステムズ（株）と複数のサービス事業者を横断した電子契約の締結等を可能とす

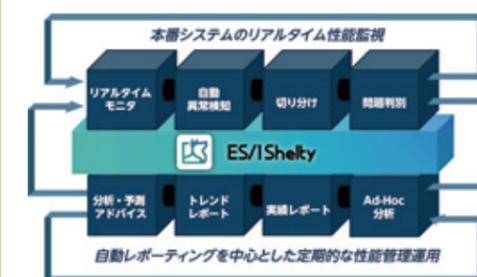
る日本初のデータ連携基盤（トラストサービスのプラットフォーム）を共同で開発し、トラストサービスの利便性の大幅な向上を目指しています。医療分野やペーパーレス化まで見据えると将来的にはトラストサービスは広範囲にわたり普及することが見込まれ、本プラットフォームの必要性は非常に高いと言えます。

本プラットフォームは広く一般に公開し、行政機関や民間企業のさまざまなサービスが参加し共通利用できるサービス環境の整備を進め、Society5.0社会の実現を目指します。

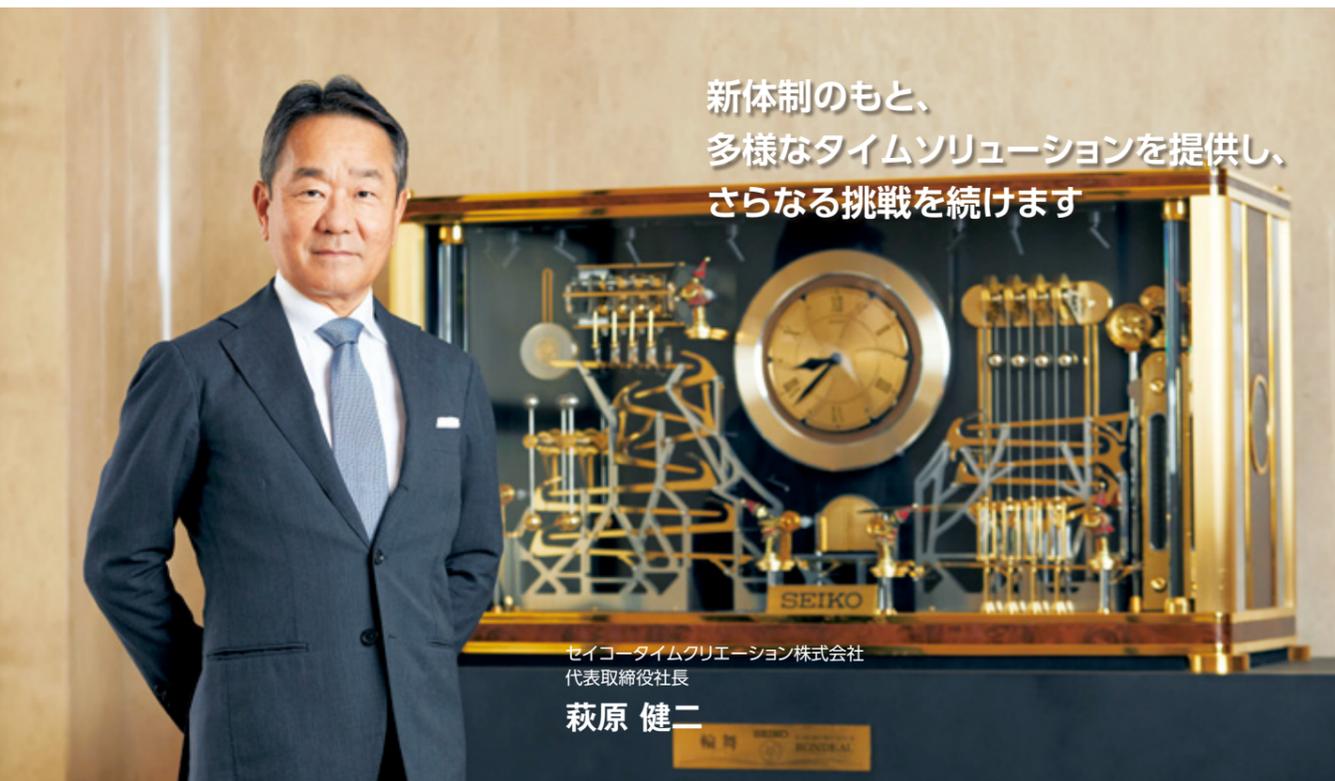


社会課題解決に資する製品例

コロナ禍は事業環境、価値観の変化をもたらし、リモートワークの増加やデジタルトランスフォーメーションの動きが顕在化しています。(株)アイ・アイ・エムは、「すべてをひとつで。」をコンセプトに次世代性能管理ツール「ES/1 Shelly」の提供を開始しました。加速する環境変化で生じるデジタルパフォーマンスに関わるさまざまな課題に対し、タイムリーに最適なソリューションを提供することでお客さまの課題解決を支援しています。



タイムクリエーション・和光事業



新体制のもと、
多様なタイムソリューションを提供し、
さらなる挑戦を続けます

セイコータイムクリエーション株式会社
代表取締役社長

萩原 健二



70年を超える伝統と先進技術を活かし、
最高の商品・サービスを提供します

株式会社 和光
代表取締役社長

石井 俊太郎

セイコーホールディングスグループ140年の歴史を通して、クロック製造・時計販売を中心にSEIKOブランドを支えてまいりました。

幅広い高品質な製品・サービスとともにエンターテイメントを世界中へお届けし、お客さまと感動を分かちあうことで、グループの企業価値向上に貢献します。



社会を支える重点取り組み

タイムクリエーション事業

当社は2021年4月1日に旧セイコークロック(株)と旧セイコータイムシステム(株)を経営統合し新たな事業会社として発足しました。我々はクロック・設備時計やスポーツ計時活動で長年培ってきた知見とノウハウにFA(ファクトリーオートメーション)事業の最先端技術を融合させ、「時」の総合ソリューションカンパニーとして様々なタイムソリューションを提供する会社を目指し、サステナブルな社会の創出に貢献してまいります。

その事業領域は腕時計以外、つまり非ウエアラブルのあらゆる場所や空間を対象としており、一般家庭などプライベート分野からオフィス・学校・工場さらにはスポーツ・公共施設などのパブリック分野まで幅広くカバーしております。

当社伝統のアナログ技術と最新のデジタルテクノロジーをハイブリッドに結合させながら「人・モノ・時」をつなぎ、世界中に「笑顔」をもたらすような製品・サービスをお届けできるよう、新たな挑戦を続けてまいります。

和光事業

2022年、銀座のシンボルである和光の時計塔は竣工90年を迎え、さらに和光は創立75年を迎えます。銀座の地で長い歴史を刻む中で、新型コロナウイルスによる社会環境の変化によって、銀座を訪れるお客さまの消費行動も大きく変化しています。

和光では、このような時代の流れに対応すべくDXを推進しています。コロナ禍でもお客さまにご満足いただけるようリアル店舗のみならず、オンラインでも「5つのお約束」を掲げ、オンラインコンシェルジュが最高のおもてなしでお客さまをお迎えます。

和光 5つのお約束

1. すべてに「ストーリー」があります
2. 必ず「本物」が見つかります
3. いつも「サプライズ」をお届けします
4. 「一生のお付き合い」をいたします
5. 「銀座の街」と社会とともに歩みます

さらにホームページでは本館内バーチャルツアー・3Dフロアガイドをご提供し、カスタマーエクスペリエンスの向上を実現しています。

アフターサービス・リフォームサービスなどを充実するなど、環境への配慮の取組みを推進し、サステナブルな社会への貢献とお客さまの笑顔につながる商品・サービスのご提供を目指してまいります。



Photo / MASATO MITSUNARI